

## &lt;平成30年1~3月期集計結果&gt;

業況DIは全業種ともマイナス幅が**拡大するも来期はやや横ばい基調に****業況概要**

今期(平成30年1~3月)の全産業業況DI値は▲16.6となり、前期水準(▲31.4)よりマイナス幅が14.8ポイント縮小しました。産業別業況DI値を見ると4業種で好転、1業種で悪化しました。事業所からは、時代の流れが速く、先が見えない。(日用品・雑貨卸売業)、アベノミクスはどうなったのか。本当に景気はいいのか、この半年受注が減少気味で実感がわからない。(職別工事業)などの声が寄せられました。

向こう三ヶ月の見通し(平成30年4月~6月)

来期(平成30年4~6月期)の見通しでは、業況DI(全業種計)については▲12.5となり前期水準(▲31.4)よりと**マイナス幅がポイント18.9縮小する予測です。**

**※DI値とは・・・**

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

したがって、業況DI=(好転の回答割合)-(悪化の回答割合)で算出している。

**建設業**

## ☆ 事業所の声

黒字になっても、税金の支払いのため、借入が必要になる。(設備工事業)

中小業者にはきびしい時代である。(職別工事業)

今期の業況DI値は、前期比で17.3ポイントマイナス幅が縮小し、▲3.3になりました。

来期の見通しでは、業況DI値は▲26.7とマイナス幅が23.4ポイント拡大する予測です。

**製造業**

## ☆ 事業所の声

従業員や熟練工を確保するのが困難である。(鉄鋼・金属製品製造業)

生産設備が不足しており、老朽化も問題である。(石油・化学・ゴム製品製造業)

原材料費が高値で推移しており、利益を出しにくい。(機械器具製品製造業)

今期の業況DI値は、前期比で3.8ポイントマイナス幅が縮小し、▲11.1になりました。

来期の見通しでは、業況DI値は▲2.8とマイナス幅が8.3ポイント縮小する予測です。

**卸売業**

## ☆ 事業所の声

運賃の大幅値上げで採算の悪化がおきている。(木材・木製品製造業)

運賃の上昇、住民税の負担が大きく、商売が成り立たない。(包装資材卸売業)

メーカーの商品生産が遅くなり、注文に即応できない状況が起きることがある。(繊維製品製造業)

今期の業況DI値は、前期比で1.1ポイントマイナス幅が縮小し、▲35.5になりました。

来期の見通しでは、業況DI値は▲30.0とマイナス幅が5.5ポイント縮小する予測です。

## 小売業

### ☆ 事業所の声

近隣に大型店やスーパーの出店があり、免許制の商売だが競争は激しい。(飲食料品小売業)

今期の業況DI値は、前期比で48.6ポイントマイナス幅が拡大し、▲10.0になりました。  
来期の見通しでは、業況DI値は▲35.0とマイナス幅が25.0ポイント拡大する予測です。

## サービス業

### ☆ 事業所の声

適正人員確保が最大の課題。(生活用品等レンタル業)

都市計画税の改定の影響は大きい。(建物管理業)

官公庁入札額の低下が厳しく、大企業との体力勝負になっている。(駐車場業)

社会保険料の負担が大きく、経営を圧迫している。(旅館・ホテル業)

今期の業況DI値は、前期比で13.7ポイントマイナス幅が縮小し、▲21.4になりました。  
来期の見通しでは、業況DI値は▲22.2とマイナス幅が0.8ポイント拡大する予測です。

### <業況DI値>

時期／業種	平成29年 1～3月	平成29年 4～6月	平成29年 7～9月	平成29年 10～12月	平成30年 1～3月 (今期)	平成30年 4～6月 (来期)	前期比	来期 見通し
建設業	▲ 21.1	▲ 5.7	▲ 20.6	▲ 10.5	▲ 3.3	▲ 26.7	7.2	▲ 23.4
製造業	▲ 13.2	▲ 9.8	▲ 14.9	0.0	▲ 11.1	▲ 2.8	▲ 11.1	8.3
卸売業	▲ 14.3	▲ 12.8	▲ 36.6	▲ 38.5	▲ 35.5	▲ 30.0	3.0	5.5
小売業	▲ 42.3	▲ 54.5	▲ 58.6	▲ 63.6	▲ 10.0	▲ 35.0	53.6	▲ 25.0
サービス業	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 35.1	▲ 40.7	▲ 21.4	▲ 22.2	19.3	▲ 0.8
全業種計	▲ 19.3	▲ 22.5	▲ 31.4	▲ 29.4	▲ 16.6	▲ 12.5	12.8	▲ 4.1